



土木工学 オンラインgPBL

8.23(MON)-8.31(TUE) (ZOOM OR GOOGLE MEET)

タイ・ベトナムの土木系学生とオンラインを通じて
仲良く・楽しく・愉快地に“Roles of civil engineers during/after
the COVID-19 pandemics (tentative)”を考えてみませんか？



稲積 真哉教授

カセサート大学 (KU)、アジア工科大学院大学 (AIT)、スラナリー工科大学 (SUT)、ならびにベトナム国立土木大学 (NUCE)の土木系学部生・大学院生が共同・協力して、コロナ後の世界における土木技術者の果たすべき役割の創造に取り組みます。

今回はオンライン(ZOOMまたはGoogle Meet)での開催のため、各日3時間程度、公式的なイベントやディスカッションを予定しています。

実施日程

8月23(月) - 8月31(火)
(メインの時間は10:00-19:00)

※日によって異なりますので
詳細は別紙を参照してください。

対象学科

土木工学に興味を持つ学生

※学部1~4年生および修士1年生
の方が対象となっております。

担当教員

稲積 真哉教授
(芝浦工業大学 土木工学科)

使用言語

英語

海外参加大学 (予定)

- カセサート大学 (タイ)
- アジア工科大学院大学 (タイ)
- スラナリー工科大学 (タイ)
- ベトナム国立土木大学 (ベトナム)

定員・参加費

参加費無料
他大学生：20名程度

全体で70~80名規模の
大きなプログラムです。

土木工学 gPBL @ オンライン (Zoom or Google Meet)

The online global-PBL collaborating with Kasetsart University (KU),
Asian Institute of Technology (AIT), Suranaree University of Technology (SUT), and
National University of Civil Engineering (NUCE)

期 間：8月23日～31日 (予定)

対 象：土木工学科 (2021年度1～4年生)・社会基盤学専攻 (2021年度1年生) 参加費：無料

定 員：希望者全員

対 応：稲積真哉 (inazumi@shibaura-it.ac.jp)

タイ・ベトナムの土木系学生とオンラインを通じて仲良く・楽しく・愉快地に
“Roles of civil engineers during/after the COVID-19 pandemics (tentative)”
を考えてみませんか

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) がパンデミック (世界的な大流行) に至っている現在、皆さんとカセサート大学 (KU)、アジア工科大学院大学 (AIT)、スラナリー工科大学 (SUT) ならびにベトナム国立土木大学 (NUCE) の土木系学部生・大学院生が共同・協力して、土木技術者の果たすべき役割の創造に取り組みます。今回はオンライン (ZOOM) での開催のため、各日3時間程度、公式的なイベントやディスカッションを予定しています。

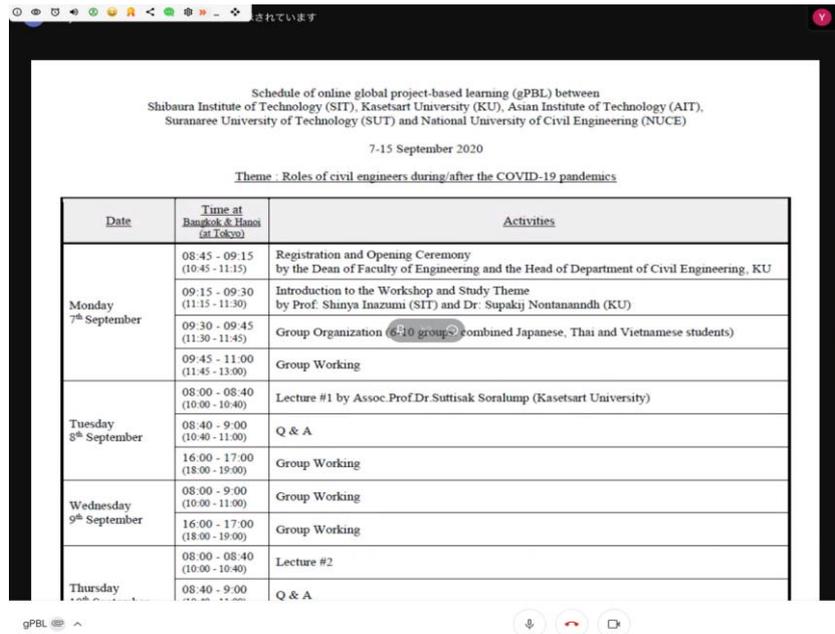
単位認定	学部生： 「海外土木工学演習 1 (選択 B; 2 単位)」 「海外土木工学演習 2 (選択 B; 2 単位)」 「海外土木工学演習 3 (選択 B; 2 単位)」 「海外土木工学演習 4 (選択 D; 2 単位)」 ※上記の内、いずれかの科目単位を付与 大学院生： 「社会基盤学グローバル演習 (2 単位)」 の科目単位を付与	航空会社	—
応募方法	申込期日：7月21日 (水) 希望者は土木工学科・稲積教授宛にメールで申し込んでください。 inazumi@shibaura-it.ac.jp また、申請前に相談したいことなどがありましたら、遠慮なく稲積教授へメールで問い合わせください。	参加費用	—
参加費用 支払期限	—		
事前研修	検討中		
旅行取扱い	—		
キャンセル料	—	海外旅行保険	—

【重要なお願い】

2021年度 (2月もしくは3月) に予定しています土木工学 gPBL@微笑みの国 (タイ・バンコク) 【受入 or オンライン】の参加を希望される学生の皆さんは、必須条件とはしませんが、上記プログラムにも合わせて参加することを是非とも検討してください。

SIT+KU+AIT+SUT+NUCE gPBL: withコロナafterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割に関するワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2020年09月07日 ～2020年09月16日	日本	カセサート大学 アジア工科大学 スラナリー工科大学 ハノイ土木大学	土木工学科 ・学部1年生 ・学部2年生 ・学部3年生 ・学部4年生	(芝浦工業大学) 学生23名 TA7名 教員1名 職員1名 (カセサート大学) 学生30名 教員3名 職員10名 (アジア工科大学) 学生16名 教員1名 職員2名 (スラナリー工科大学) 学生10名 教員1名 (ハノイ土木大学) 学生4名 教員1名 職員2名	稲積 真哉(土木工学科) 穴見 健吾(土木工学科) 伊代田 岳史(先進国際課程) 謝野 克昭(土木工学科) 並河 努(土木工学科) 勝木 大(土木工学科) 宮本 仁志(土木工学科) 平林 由希子(土木工学科) 岩倉 成志(土木工学科) 中川 雅史(土木工学科)



Date	Time at Bangkok & Hanoi (at Tokyo)	Activities
Monday 7 th September	08:45 - 09:15 (10:45 - 11:15)	Registration and Opening Ceremony by the Dean of Faculty of Engineering and the Head of Department of Civil Engineering, KU
	09:15 - 09:30 (11:15 - 11:30)	Introduction to the Workshop and Study Theme by Prof. Shinya Inazumi (SIT) and Dr. Supakij Noutanannndh (KU)
	09:30 - 09:45 (11:30 - 11:45)	Group Organization (6-10 groups combined Japanese, Thai and Vietnamese students)
	09:45 - 11:00 (11:45 - 13:00)	Group Working
Tuesday 8 th September	08:00 - 08:40 (10:00 - 10:40)	Lecture #1 by Assoc.Prof.Dr.Suttisak Soralump (Kasetsart University)
	08:40 - 9:00 (10:40 - 11:00)	Q & A
Wednesday 9 th September	16:00 - 17:00 (18:00 - 19:00)	Group Working
	08:00 - 9:00 (10:00 - 11:00)	Group Working
	16:00 - 17:00 (18:00 - 19:00)	Group Working
Thursday 10 th September	08:00 - 08:40 (10:00 - 10:40)	Lecture #2
	08:40 - 9:00 (10:40 - 11:00)	Q & A

図1 スケジュール紹介

Google Meetによるオンラインにおいて、“Roles of civil engineers during/after the COVID-19 pandemics (withコロナafterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割)”をテーマとしたグローバルPBLを実施した。当該グローバルPBLでは、本学(SIT)から土木工学科を中心に30名、カセサート大学から30名、アジア工科大学から16名、スラナリー工科大学から10名、ならびにベトナム国立建設大学から4名の計90の土木系学生が参加した。そして、当該グローバルPBL期間中は、各日午前における特別講演などの全体イベントに加え、各日午後には10グループに分かれた各グループで活動を行った。グループ活動では、テーマである“Roles of civil engineers during/after the COVID-19 pandemics (withコロナafterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割)”を各グループ内で共有議論した。その成果を披露するために開催された最終発表会では、学生らしい斬新な発想が随所に盛り込まれた発表内容が多く、全ての参加者は土木工学のニューノーマルを創造することができた。全体イベントでは、タイでも日本でも有名な地盤工学者であるProf. Dr. Suttisak Soralump (Kasetsart University), Jet Grouting (地盤改良工法の一つである高圧噴射攪拌工法)で日本台湾タイベトナムをはじめ世界で活躍されておられる方から、特別講演をいただいた。また、日本ならびにベトナムからの参加は叶わなかったが、タイにおいて現場見学会も催され、それは各グループ活動において動画等で共有された。



図2 ファイナルプレゼンテーション

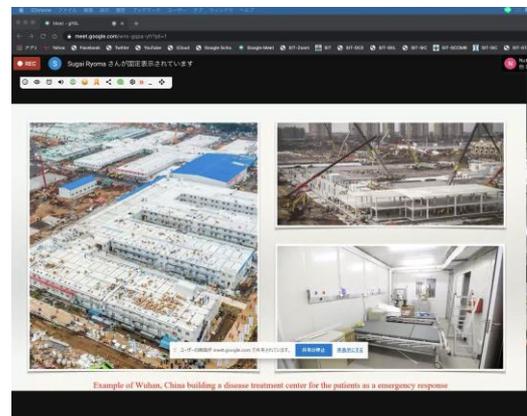


図3 ファイナルプレゼンテーション